学校番号	１００７

令和３年度　福祉科

教科	福祉	科目	コミュニケーション技術	単位数	２単位	年次	１年次
講座名	カウンセリング講座						
使用教科書	「コミュニケーション技術」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、人とコミュニケーションをとるということ、特に、人の話を聴くということについて勉強していきます。日常生活の中で、色々な人とコミュニケーションを取る機会はたくさんあります。そこで、自分の意見を伝え、相手を受け入れ、良好な関係を築くにはどのようなコミュニケーションをとっていけばいいのかを考えていきましょう。そのために、話を聞くプロであるカウンセラーがどのような技術を用いて話を聴いているのか勉強していきます。授業で勉強したことを日常生活の中で、積極的に使ってください。

話をしっかりと聴くということは、相手を大切にするということです。相手を大切にすることのできる話の聴き方、姿勢を１年間かけて身につけていきましょう。

2　学習の到達目標

カウンセリングの基礎理論と技術を学び、日常での人との良好なコミュニケーション作りや将来の仕事に生かす姿勢を身につけるとともに、エンカウンターワークやグループ実習、話し合いを通じて人との関わりを多く経験し、積極的に人と関わる態度を育てることを目的としています。

また、性格検査や心理テスト等について学び、実習することで自己理解を深めていきます。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	コミュニケーションに関心を持ち、日常生活において良好な人間関係を形成するために主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	日常生活における良好奈人間関係を形成するためのコミュニケーションの基礎について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、表現する創造的な能力を身につけている。	信頼関係を構築するためにコミュニケーション、特にカウンセリングに関わる技術を身につけ、日常生活におけるコミュニケーションに関する諸活動にその技術を適切に活用している。	コミュニケーションに関する基礎的な知識基礎的な知識を身につけ、コミュニケーションの持つ意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 グループワーク 実習への参加	プリントの記述 定期考査	プリントの記述 グループワーク 実習態度 定期考査	学習状況の観察 プリントの記述 発表 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	コミュニケーションの意義と役割	・エンカウンターワーク ・自己肯定度インベントリー ・コミュニケーションとは	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:コミュニケーションについて感心をもち、人間関係の形成、コミュニケーションの基礎について探求しようとしている b:人間関係の形成、コミュニケーションの基礎について思考を深め、基礎的な知識と技術を本に適切に判断し、その過程や結果を適切に表現している c:人間関係とコミュニケーションに関する基礎的な技術を身につけている。 d:コミュニケーションに関する基礎的な知識を身につけ、コミュニケーションの持つ意義や役割を理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査
1	コミュニケーションの基本技術	・言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション ・鈴木さんの悩み ・カウンセリングとは ・カウンセリングの展開 ・カウンセリングの聴き方の色々	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:言語的コミュニケーションや非言語的コミュニケーションなど基本技術の意義や役割について感心をもち、コミュニケーションの基礎について探求しようとしている。 b:言語的コミュニケーションや非言語的コミュニケーションなど基本技術を通して意義や役割について思考を深め、その家庭や結果を適切に表現している。 c:言語的コミュニケーションや非言語的コミュニケーションなど基礎的な技法に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択し、活用している。 d:言語的コミュニケーションや非言語的コミュニケーションなど基礎的な知識と技法を身につけ、コミュニケーションの基礎について理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査

2	コミュニケーションの基本技術	・カウンセリングの聴き方の色々 ・聴き方で大切なこと,言葉以外で伝わるもの ・カウンセラーに必要なこと ・聴き取り実習 ・コミュニケーションワーク ・カウンセリングの応用技術	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:言語的コミュニケーションや非言語的コミュニケーションなど基本技術の意義や役割について感心をもち、コミュニケーションの基礎について探求しようとしている。 b:言語的コミュニケーションや非言語的コミュニケーションなど基本技術を通して意義や役割について思考を深め、その家庭や結果を適切に表現している。 c:言語的コミュニケーションや非言語的コミュニケーションなど基礎的な技法に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択し、活用している。 d:言語的コミュニケーションや非言語的コミュニケーションなど基礎的な知識と技法を身につけ、コミュニケーションの基礎について理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 グループワーク 定期考査
3	記録	・記録の意義 ・逐語記録について ・逐語記録の分析	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	a:チームのコミュニケーションについて感心を持ち、記録の重要性、情報の共有化について探求しようとしている。 b:チームのコミュニケーションに必要な記録の方法を理解し、情報の共有化の方法について考察している。 c:チームのコミュニケーションに必要な記録の重要性について理解し、情報の共有化のために適切に判断し活用している。 d:記録について理解し、情報を共有化することで、チームにおけるコミュニケーションが深まることを理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査

3	サービス利用者に応じたコミュニケーション	・高齢者とのコミュニケーション ・カウンセリングシナリオ作り ・シナリオ発表	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:サービス利用者に関するコミュニケーションの様々な課題に関心を持ち、コミュニケーションの工夫について探求しようとしている。 b:サービス利用者とのコミュニケーションの様々な課題の解決を目指し、その技術や知識を適切に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c:サービス利用者とのコミュニケーションの様々な課題に対応する基礎的・基本的な技法に関する資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 d:サービス利用者とのコミュニケーションに関する基礎的・基本的知識と技術を身につけ、コミュニケーションの工夫について理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 実習への参加 定期考査
4	コミュニケーションの意義と役割	・20 答法 ・自己表現チェック ・エゴグラム ・自己肯定度インベントリー		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		a:コミュニケーションについて感心をもち、人間関係の形成、コミュニケーションの基礎について探求しようとしている b:人間関係の形成、コミュニケーションの基礎について思考を深め、基礎的な知識と技術を本に適切に判断し、その家庭や結果を適切に表現している c:人間関係とコミュニケーションに関する基礎的な技術を身につけている。 d:コミュニケーションに関する基礎的な知識を身につけ、コミュニケーションの持つ意義や役割を理解している。	学習状況の観察 プリントの記入 定期考査

4	サービス利用者に応じたコミュニケーション	・実習に関わる悩み作り ・カウンセリング実習	○	○ ○	○	○ ○	a:サービス利用者に関するコミュニケーションの様々な課題に関心を持ち、コミュニケーションの工夫について探求しようとしている。 b:サービス利用者とのコミュニケーションの様々な課題の解決を目指し、その技術や知識を適切に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c:サービス利用者とのコミュニケーションの様々な課題に対応する基礎的・基本的な技法に関する資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 d:サービス利用者とのコミュニケーションに関する基礎的・基本的知識と技術を身につけ、コミュニケーションの工夫について理解している。	学習状況の観察 プリントの記入 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。